

国立大学法人東北大学の中期計画新旧対照表

現 行		変 更 案		変更理由
I 教育研究の質の向上に関する事項を達成するためにとるべき措置 1 社会との共創に関する目標を達成するための措置 (2)-4 「社会とともにある大学」としての社会連携の強化 (No. 6)		I 教育研究の質の向上に関する事項を達成するためにとるべき措置 1 社会との共創に関する目標を達成するための措置 (2)-4 「社会とともにある大学」としての社会連携の強化 (No. 6)		当初の評価指標に加え、本学が国内最大規模を誇るMOOCによるオープンバッジ発行数をさらに増やし、第4期中期目標期間末までに累計10,000個発行という、他法人と比較して高い達成水準の目標値を設定し、意欲的な評価指標の再申請を行ったため。
<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外の卒業生や在校生及びその保護者、大学等の教育機関、自治体及び産業界等の多様なステークホルダーとの対話を通じた連携を強化する。また、産業界や社会の変化に応じた社会人の学び直しの機会を提供するリカレント教育の展開など、本学の人材育成機能及び研究成果の活用により課題先進地域である東北地方の課題解決を通じた人類社会全体の発展に貢献するため、「社会とともにある大学」として、本学の人的・知的資源を広く社会に還元する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外の卒業生や在校生及びその保護者、大学等の教育機関、自治体及び産業界等の多様なステークホルダーとの対話を通じた連携を強化する。また、産業界や社会の変化に応じた社会人の学び直しの機会を提供するリカレント教育の展開など、本学の人材育成機能及び研究成果の活用により課題先進地域である東北地方の課題解決を通じた人類社会全体の発展に貢献するため、「社会とともにある大学」として、本学の人的・知的資源を広く社会に還元する。</li> </ul>		
評価指標	指⑥： 第4期中期目標期間にわたり、ホームカミングデー等、多様なステークホルダーとの双方向交流の機会を拡充し、第4期中期目標期間末までに本学との	評価指標	指⑥： 第4期中期目標期間にわたり、ホームカミングデー等、多様なステークホルダーとの双方向交流の機会を拡充し、第4期中期目標期間末までに本学との	

<p>交流者数を第3期中期目標期間比で2倍に増加させるとともに、本学の人的・知的資源を広く社会に還元するため、第4期中期目標期間末までに、MOOC（大規模公開オンライン講座）新規開講講座数を10講座増加させる</p>	<p>交流者数を第3期中期目標期間比で2倍に増加させる。また、本学の人的・知的資源を広く社会に還元するため、第4期中期目標期間末までに、MOOC（大規模公開オンライン講座）について、新規開講講座数を10講座増加させるとともに、知識・スキルを証明するオープンバッジを累計10,000個発行する</p>	
<p>I 教育研究の質の向上に関する事項を達成するためにとるべき措置</p>	<p>I 教育研究の質の向上に関する事項を達成するためにとるべき措置</p>	<p>当初の評価指標に加え、独自のデータベース構築とデータカタログとしての公開という、政府目標を超えた新規性の高い取組を目標値として設定し、意欲的な評価指標の再申請を行ったため。</p>
<p>3 研究に関する目標を達成するための措置</p> <p>(1)-2 データ駆動型研究とオープンサイエンスの展開 (No. 19)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会構造の変革によるDXの加速に伴い、データを活用した研究開発の高度化、高速化、効率化を実現するため、データ駆動型研究やオープンサイエンス推進のためのデータ利活用促進、データ活用インフラ及び支援体制等を充実することにより、研究環境DXを推進する。</li> </ul>	<p>3 研究に関する目標を達成するための措置</p> <p>(1)-2 データ駆動型研究とオープンサイエンスの展開 (No. 19)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会構造の変革によるDXの加速に伴い、データを活用した研究開発の高度化、高速化、効率化を実現するため、データ駆動型研究やオープンサイエンス推進のためのデータ利活用促進、データ活用インフラ及び支援体制等を充実することにより、研究環境DXを推進する。</li> </ul>	
<p>評価指標 指⑩： 第4期中期目標期間末までに、研究データ管理・公開ポリシー実現のためのアクションプランに基づき、データ公</p>	<p>評価指標 指⑩： 第4期中期目標期間末までに、研究データ管理・公開ポリシー実現のためのアクションプランに基づき、データ公</p>	

	<p>開・利活用を促進するため、全ての部局で研究分野の特性に応じた具体的な実施方針（ガイドライン）を整備する</p>	<p>開・利活用を促進するため、全ての部局で研究分野の特性に応じた具体的な実施方針（ガイドライン）を整備する。さらに独自のデータマネジメントプラン登録データベースを構築し、研究データ管理・公開ポリシーに基づき、データカタログとして検索可能な形式で公開する</p>	
<p>(新規)</p>		<p>I 教育研究の質の向上に関する事項を達成するためにとるべき措置  2 教育に関する目標を達成するための措置  (1)-5 情報系学位プログラムと連携した高度情報専門人材育成 (No. 48)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本学が強みを有する教育研究実績を基盤として、学生及び社会のニーズが高い高度情報専門人材育成を強化するため、「大学・高専機能強化支援事業」の仕組みを活用し、教育の体制強化を図る。</li> </ul>	<p>「大学・高専機能強化支援事業」の採択に伴い、学部定員の増員を行うため。</p>
		<p>評価指標 指⑩：  令和6年度から工学部の入学定員を40名増員するとともに、第5期中期目標期間終了時までには他学部・他学科を中心に同規模の定員を減ずるため、教育改革推進会議等の学内会議を開催し、</p>	

<p>VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>1. 重要な財産を譲渡する計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旧開発地理学磐梯研究所跡地（福島県耶麻郡猪苗代町字芹沢4040番43）990.94㎡を譲渡する。</li> </ul>	<p>第4期中期目標期間末までに具体的な計画を決定する</p>	<p>保育所の施設として貸付契約を締結していた建物について、保育所を運営する社会福祉法人へ譲渡するため。本建物は老朽化等により本学における利用計画がなく、今後の使用見込みもないことから、本学の業務運営に支障はない。</p>																																																														
<p>別表1 学部、研究科等及び収容定員</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="10">学部</td> <td>文学部</td> <td>840人</td> </tr> <tr> <td>教育学部</td> <td>280人</td> </tr> <tr> <td>法学部</td> <td>640人</td> </tr> <tr> <td>経済学部</td> <td>1,080人</td> </tr> <tr> <td>理学部</td> <td>1,296人</td> </tr> <tr> <td>医学部</td> <td><u>1,228人</u></td> </tr> <tr> <td>歯学部</td> <td>318人</td> </tr> <tr> <td>薬学部</td> <td>360人</td> </tr> <tr> <td>工学部</td> <td><u>3,240人</u></td> </tr> <tr> <td>農学部</td> <td>600人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数)</td> <td><u>9,882人</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">研究科等</td> <td>文学研究科</td> <td>292人</td> </tr> <tr> <td>教育学研究科</td> <td>135人</td> </tr> <tr> <td>法学研究科</td> <td>266人</td> </tr> </table>	学部	文学部	840人	教育学部	280人	法学部	640人	経済学部	1,080人	理学部	1,296人	医学部	<u>1,228人</u>	歯学部	318人	薬学部	360人	工学部	<u>3,240人</u>	農学部	600人	(収容定員の総数)		<u>9,882人</u>	研究科等	文学研究科	292人	教育学研究科	135人	法学研究科	266人	<p>別表1 学部、研究科等及び収容定員</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="10">学部</td> <td>文学部</td> <td>840人</td> </tr> <tr> <td>教育学部</td> <td>280人</td> </tr> <tr> <td>法学部</td> <td>640人</td> </tr> <tr> <td>経済学部</td> <td>1,080人</td> </tr> <tr> <td>理学部</td> <td>1,296人</td> </tr> <tr> <td>医学部</td> <td><u>1,239人</u></td> </tr> <tr> <td>歯学部</td> <td>318人</td> </tr> <tr> <td>薬学部</td> <td>360人</td> </tr> <tr> <td>工学部</td> <td><u>3,400人</u></td> </tr> <tr> <td>農学部</td> <td>600人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数)</td> <td><u>10,053人</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">研究科等</td> <td>文学研究科</td> <td>292人</td> </tr> <tr> <td>教育学研究科</td> <td>135人</td> </tr> <tr> <td>法学研究科</td> <td>266人</td> </tr> </table>	学部	文学部	840人	教育学部	280人	法学部	640人	経済学部	1,080人	理学部	1,296人	医学部	<u>1,239人</u>	歯学部	318人	薬学部	360人	工学部	<u>3,400人</u>	農学部	600人	(収容定員の総数)		<u>10,053人</u>	研究科等	文学研究科	292人	教育学研究科	135人	法学研究科	266人	<p>(医学部)</p> <p>令和6年度までの期間を付した地域の医師確保等の観点からの医学部入学定員の暫定増に伴う収容定員の変更。</p> <p>(工学部・工学研究科・情報科学研究科)</p> <p>「大学・高専機能強化支援事業」の採択による学部・研究科等の入学定員の増に伴う収容定員の変更。</p>
学部		文学部	840人																																																													
		教育学部	280人																																																													
		法学部	640人																																																													
		経済学部	1,080人																																																													
		理学部	1,296人																																																													
		医学部	<u>1,228人</u>																																																													
		歯学部	318人																																																													
		薬学部	360人																																																													
		工学部	<u>3,240人</u>																																																													
	農学部	600人																																																														
(収容定員の総数)		<u>9,882人</u>																																																														
研究科等	文学研究科	292人																																																														
	教育学研究科	135人																																																														
	法学研究科	266人																																																														
学部	文学部	840人																																																														
	教育学部	280人																																																														
	法学部	640人																																																														
	経済学部	1,080人																																																														
	理学部	1,296人																																																														
	医学部	<u>1,239人</u>																																																														
	歯学部	318人																																																														
	薬学部	360人																																																														
	工学部	<u>3,400人</u>																																																														
	農学部	600人																																																														
(収容定員の総数)		<u>10,053人</u>																																																														
研究科等	文学研究科	292人																																																														
	教育学研究科	135人																																																														
	法学研究科	266人																																																														

経済学研究科	242人	経済学研究科	242人
理学研究科	914人	理学研究科	914人
医学系研究科	767人	医学系研究科	767人
歯学研究科	184人	歯学研究科	184人
薬学研究科	178人	薬学研究科	178人
工学研究科	<u>1,794人</u>	工学研究科	<u>1,854人</u>
農学研究科	361人	農学研究科	361人
国際文化研究科	118人	国際文化研究科	118人
情報科学研究科	<u>406人</u>	情報科学研究科	<u>466人</u>
生命科学研究科	302人	生命科学研究科	302人
環境科学研究科	299人	環境科学研究科	299人
医工学研究科	114人	医工学研究科	114人
(収容定員の総数)		(収容定員の総数)	
修士課程・博士前期課程	<u>3,602人</u>	修士課程・博士前期課程	<u>3,722人</u>
博士後期課程	1,776人	博士後期課程	1,776人
一貫制博士課程	704人	一貫制博士課程	704人
専門職学位課程	290人	専門職学位課程	290人